

# 調査の結果 調査結果の解説

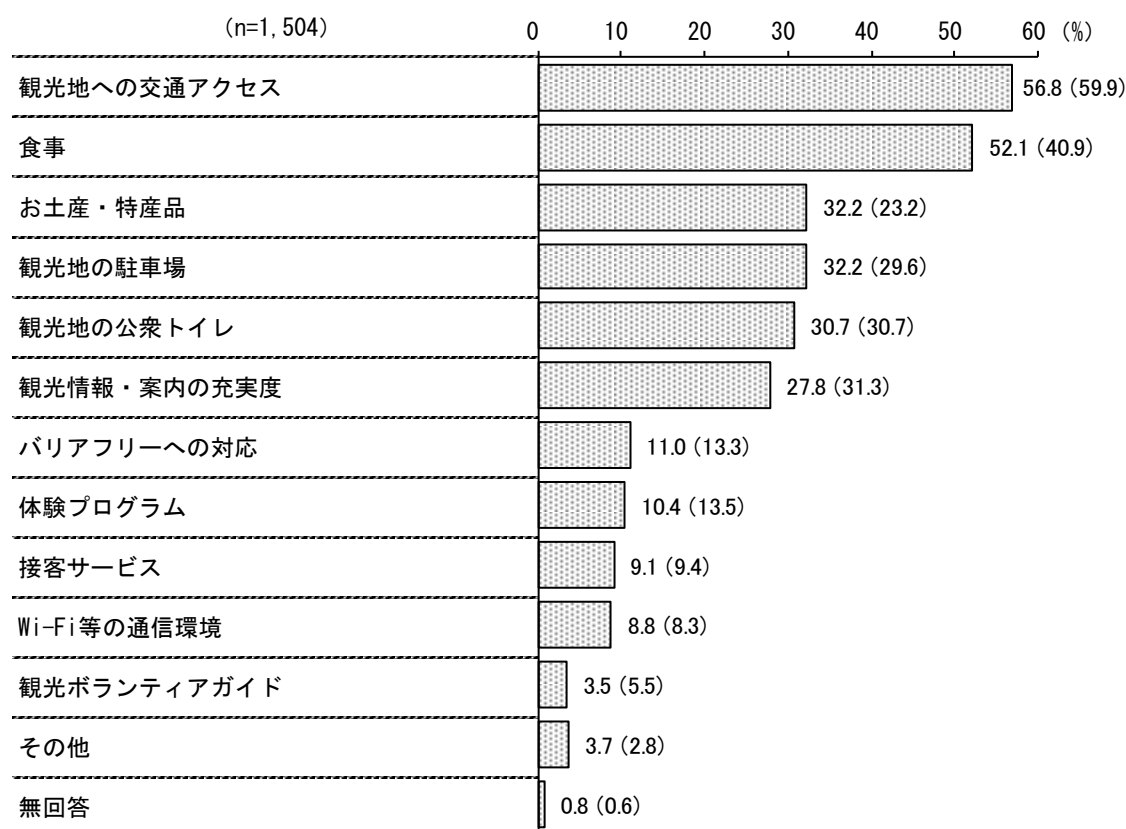
## 1 県民意識調査

### （1）県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと

◇「観光地への交通アクセス」が5割台半ば

問1 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してほしいですか。（○は3つまで）

＜図表1－1＞県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（3つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和5年度の同様の項目による調査結果 n=1,561

千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してほしいか聞いたところ、「観光地への交通アクセス」（56.8%）が5割台半ばで最も高く、以下、「食事」（52.1%）、「お土産・特産品」（32.2%）、「観光地の駐車場」（32.2%）が続く。（図表1－1）

#### 【地域別】

地域別にみると、「観光地への交通アクセス」は“東葛飾地域”（61.3%）が6割を超え、「食事」は“葛南地域”（56.9%）が5割台半ば、「観光地の駐車場」は“印旛地域”（40.3%）が4割で高くなっている。（図表1－2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「食事」は、男性30代（69.5%）が約7割、女性30代（64.6%）が6割台半

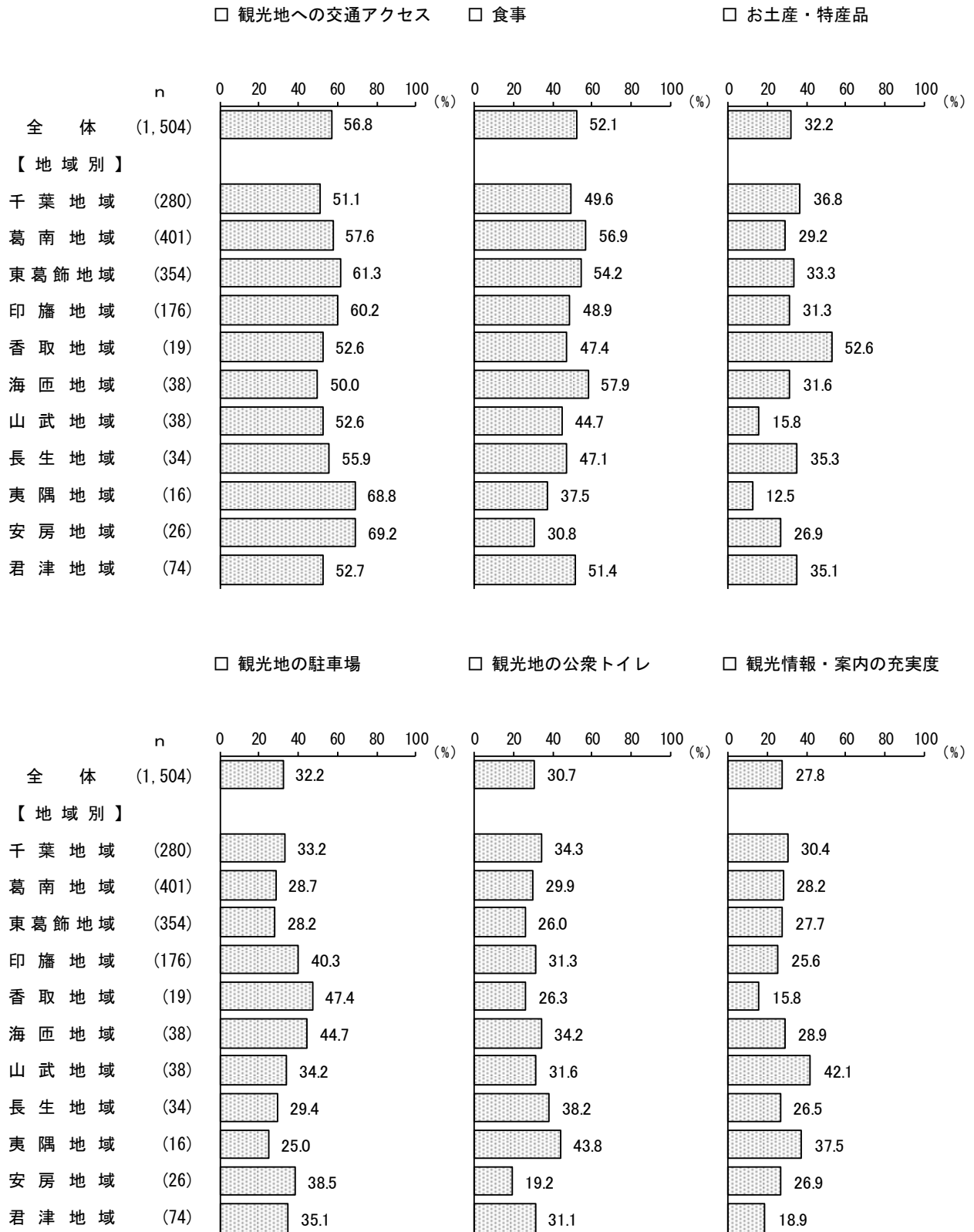
ば、男性50代（63.4%）が6割を超えて高くなっている。

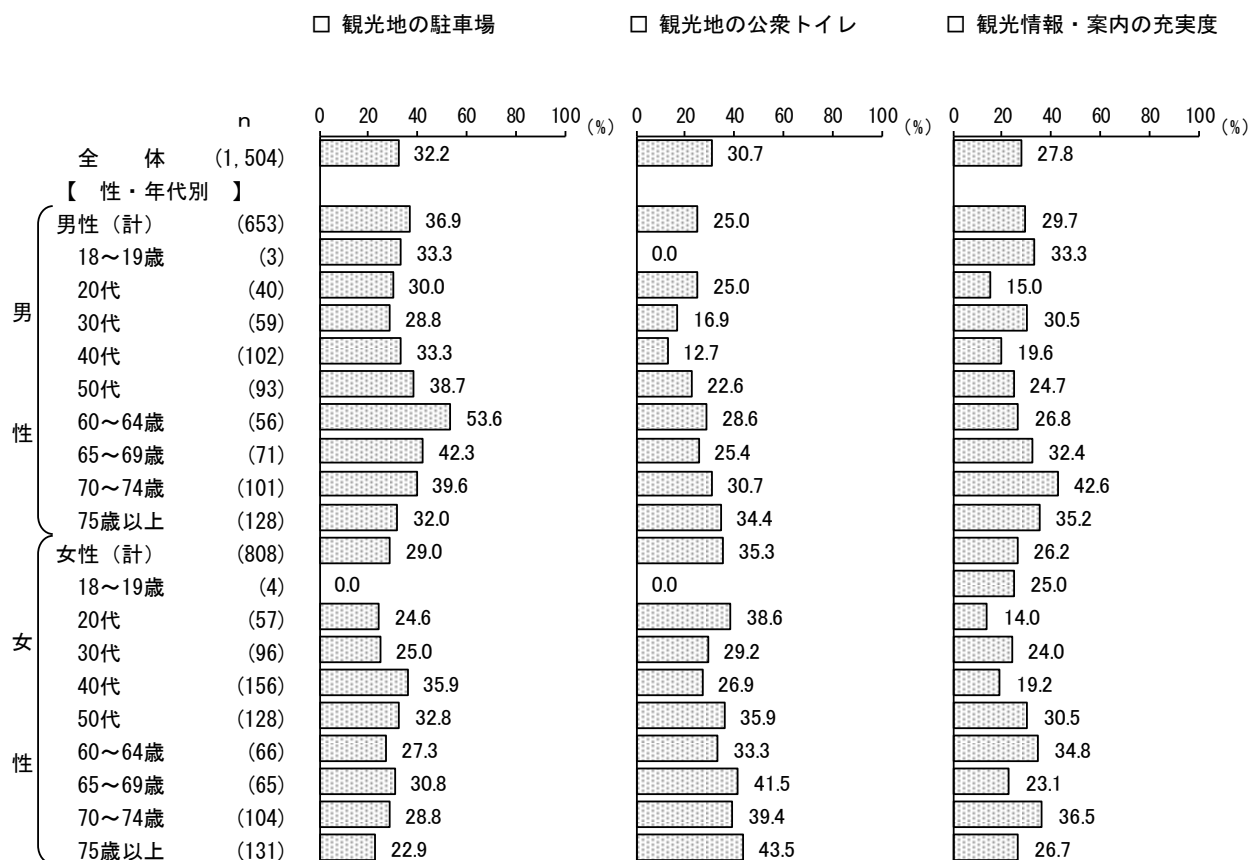
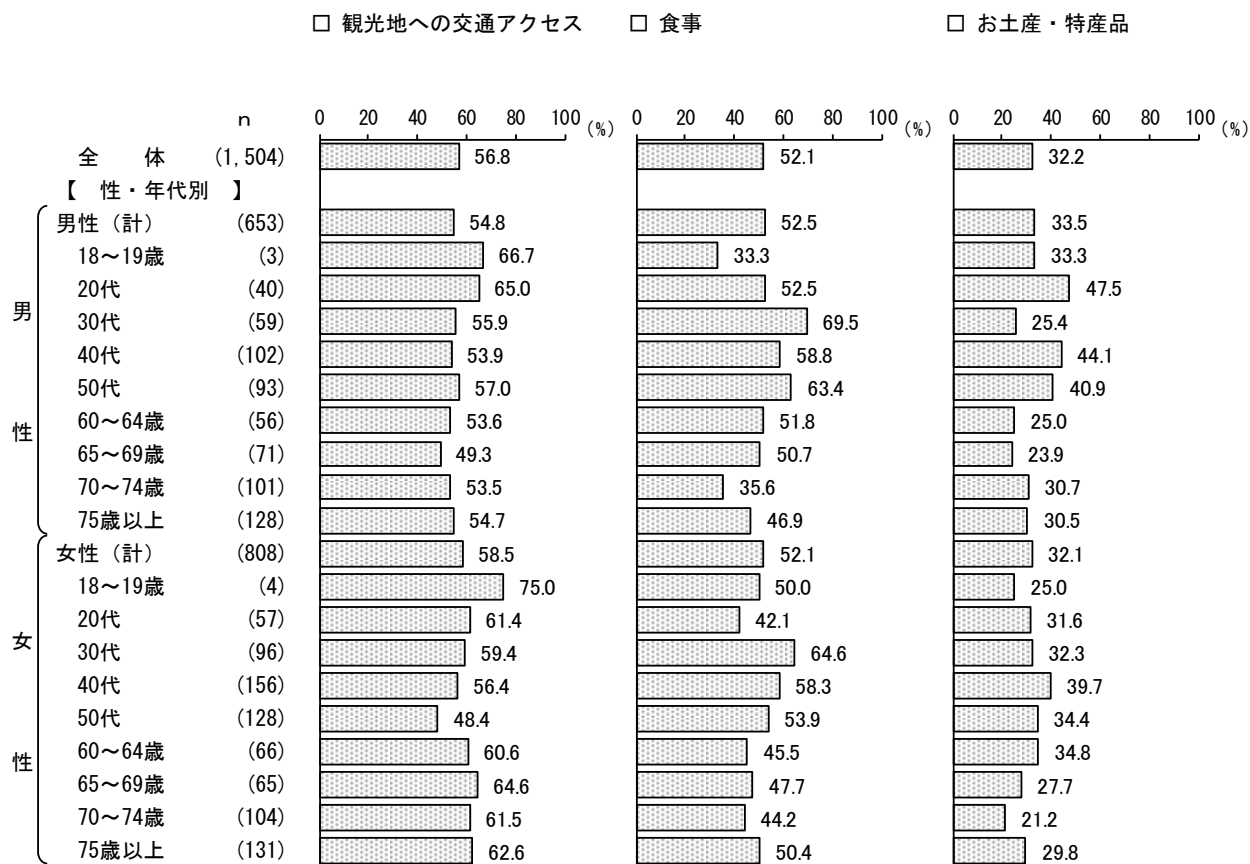
「お土産・特産品」は、男性20代（47.5%）が約5割、男性40代（44.1%）が4割台半ば、女性40代（39.7%）が約4割で高くなっている。

「観光地の駐車場」は、男性60～64歳（53.6%）が5割台半ばで高くなっている。（図表1－2）

<図表1－2>県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（3つまでの複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）



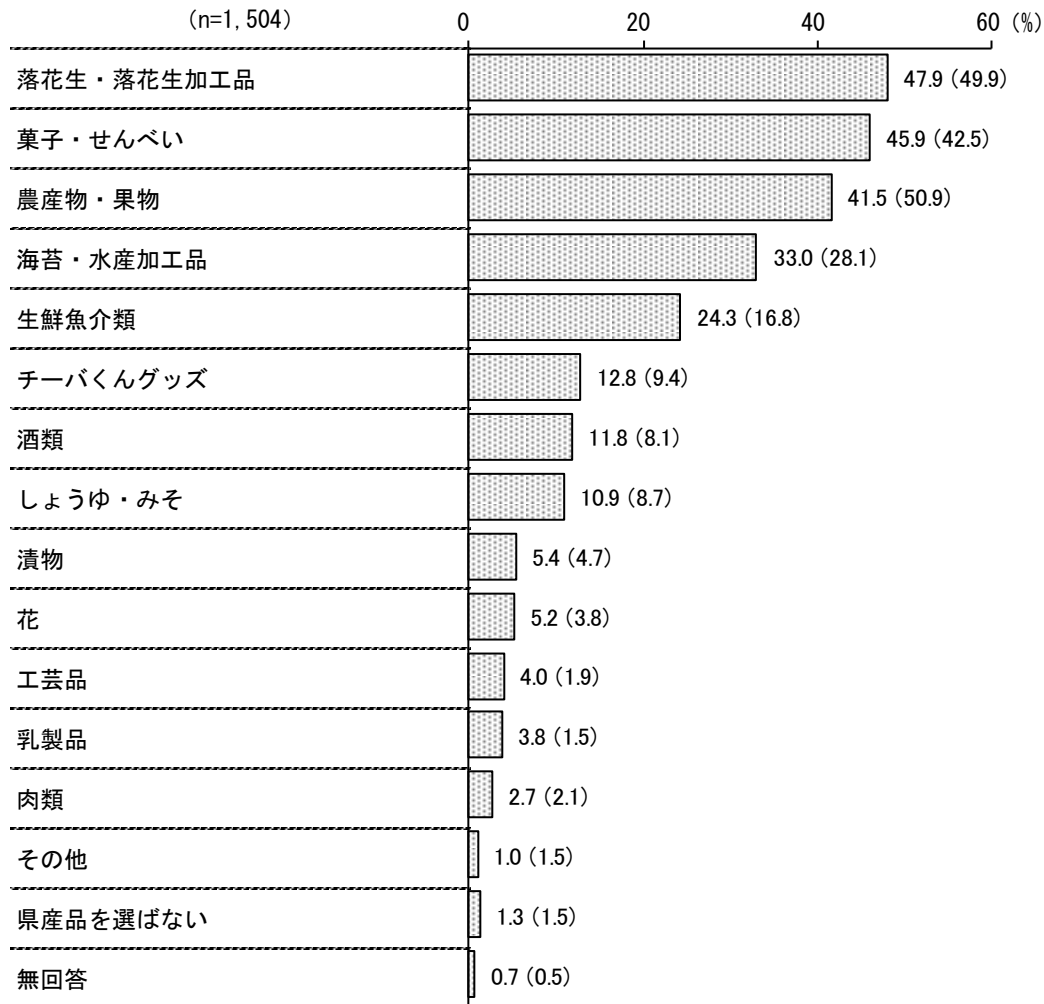


## （２）お土産や贈答品として選ぶ県産品

◇「落花生・落花生加工品」が約５割

問２ 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。（○は３つまで）

<図表１－３>お土産や贈答品として選ぶ県産品（３つまでの複数回答）



注) ( ) の数字は令和５年度の同様の項目による調査結果 n=1,561

県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選ぶか３つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」（47.9％）が約５割で最も高く、以下、「菓子・せんべい」（45.9％）、「農産物・果物」（41.5％）が続く。（図表１－３）

### 【地域別】

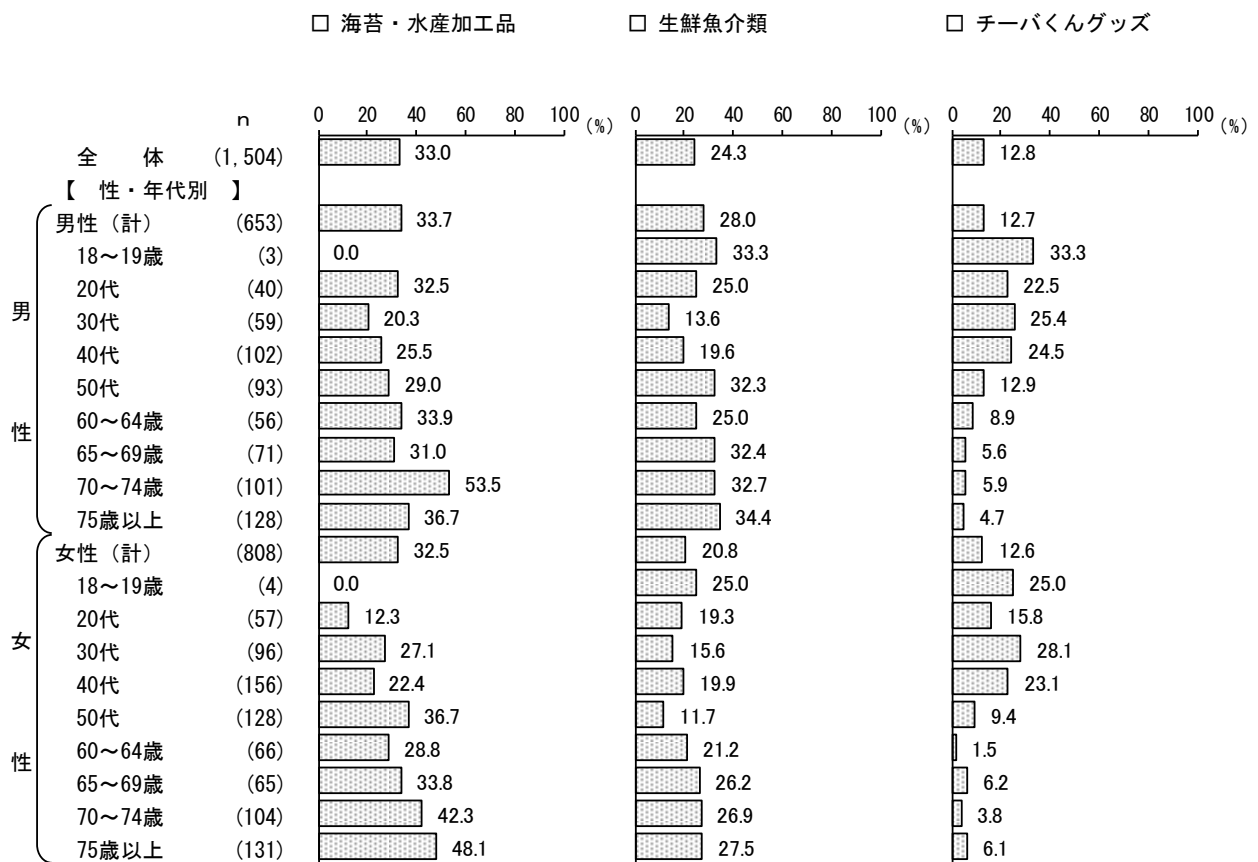
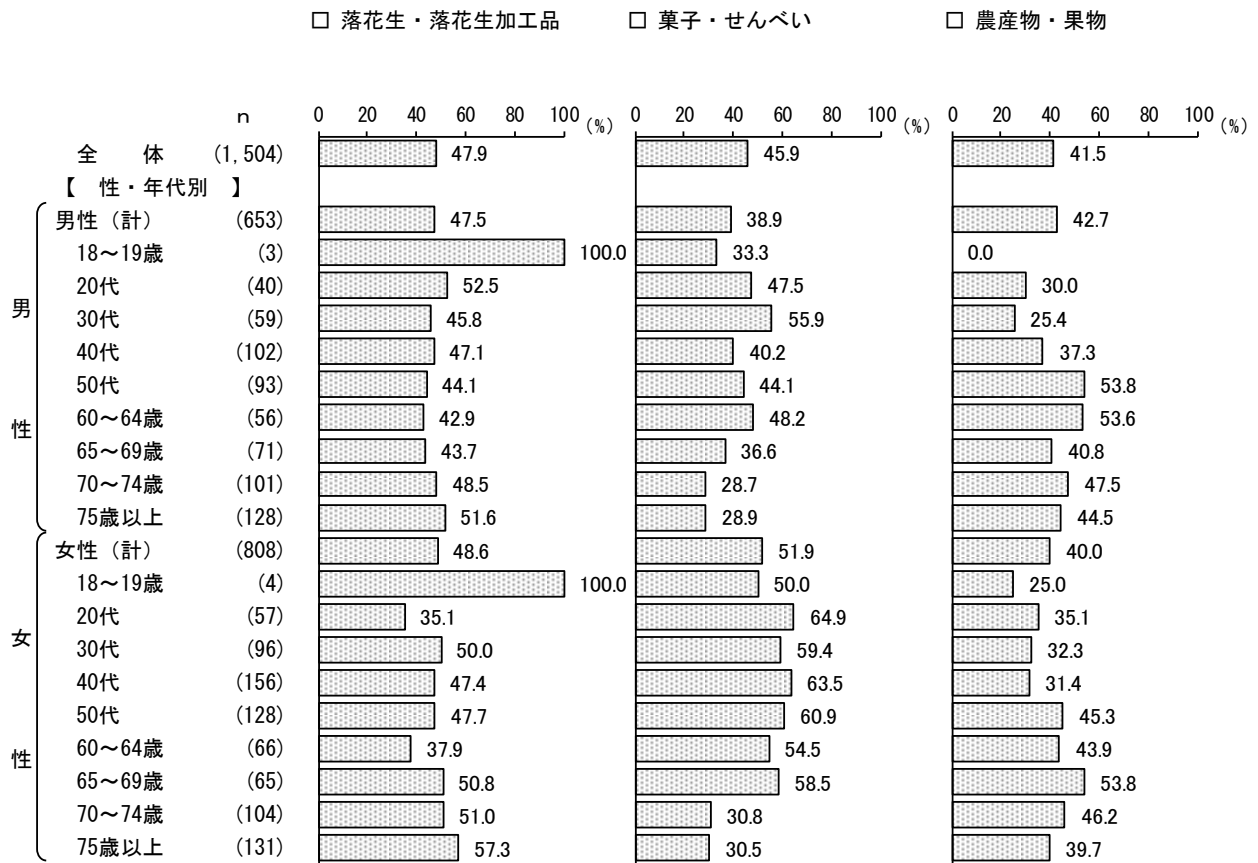
地域別にみると、「菓子・せんべい」は“千葉地域”（54.6％）が５割台半ばで高くなっている。

「海苔・水産加工品」は“長生地域”（55.9％）が５割台半ば、“君津地域”（48.6％）が約５割で高くなっている。（図表１－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は、女性75歳以上（57.3％）が約６割で高くなっている。



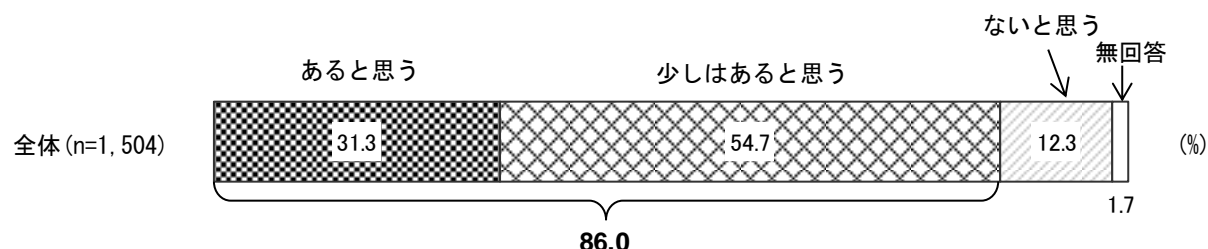


### （３）障害を理由とする差別や偏見の有無

◇『あると思う（計）』は８割台半ば

問３ あなたは、現在の社会の中には、障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。（○は１つ）

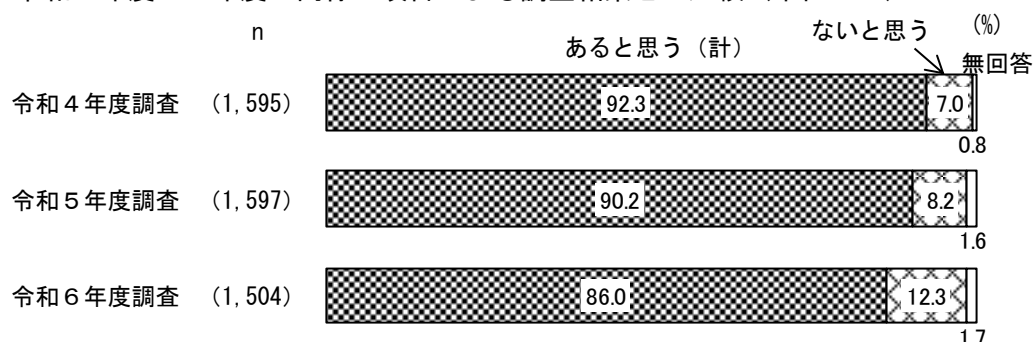
<図表１－５>障害を理由とする差別や偏見の有無



障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」（31.3%）と「少しはあると思う」（54.7%）を合わせた『あると思う（計）』（86.0%）は８割台半ばとなっている。

一方、「ないと思う」（12.3%）は１割を超えている。（図表１－５）

〔参考〕令和４年度・５年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別でみると、「あると思う」は“葛南地域”（35.9%）が３割台半ばで高くなっている。

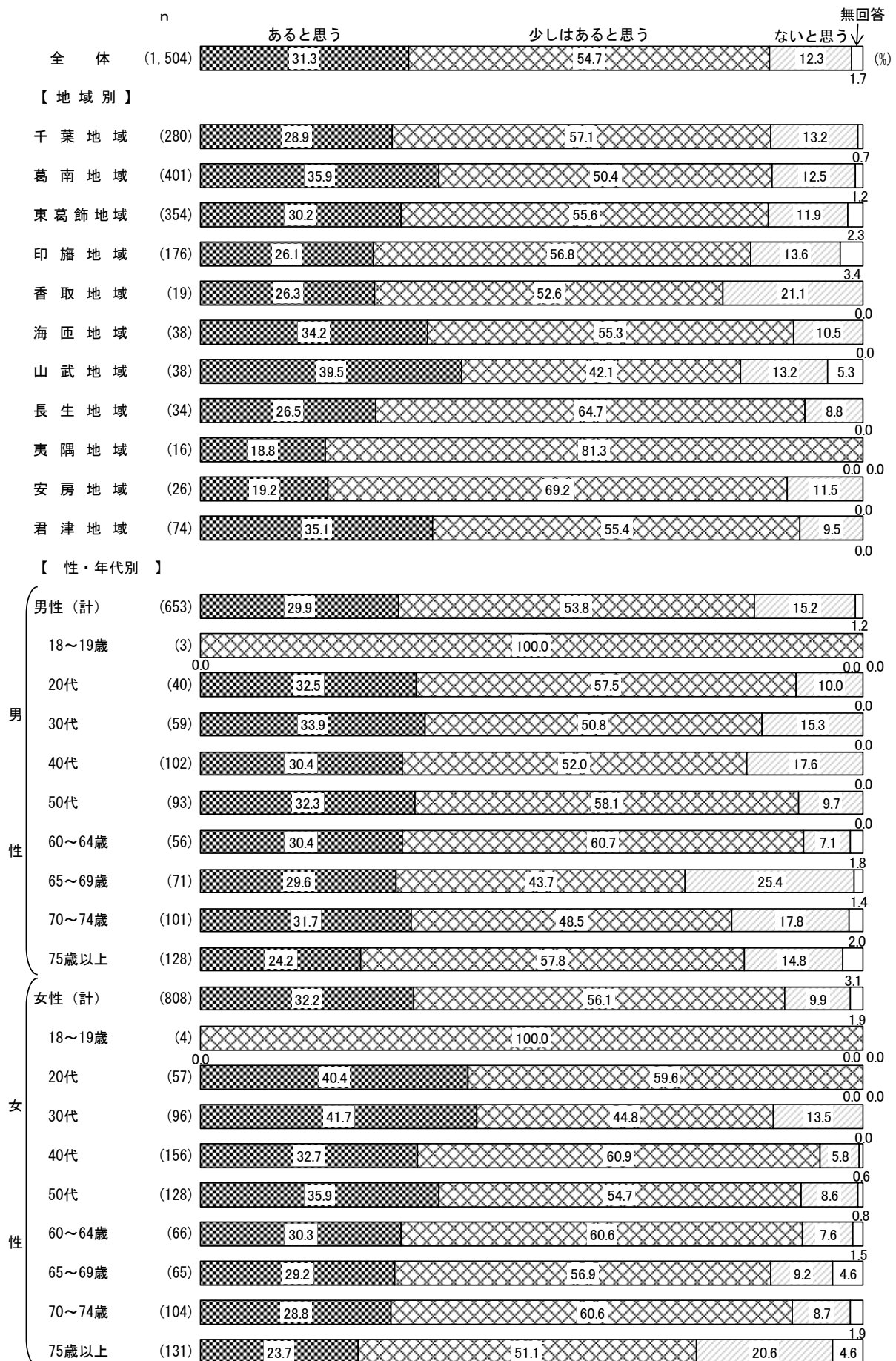
（図表１－６）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『あると思う（計）』は女性20代（100.0%）が10割、女性40代（93.6%）が9割台半ばで高くなっている。

一方、「ないと思う」は、男性65～69歳（25.4%）が２割台半ば、女性75歳以上（20.6%）が２割で高くなっている。（図表１－６）

&lt;図表 1－6&gt;障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別





### （３－１）障害を理由とする差別や偏見がある場面

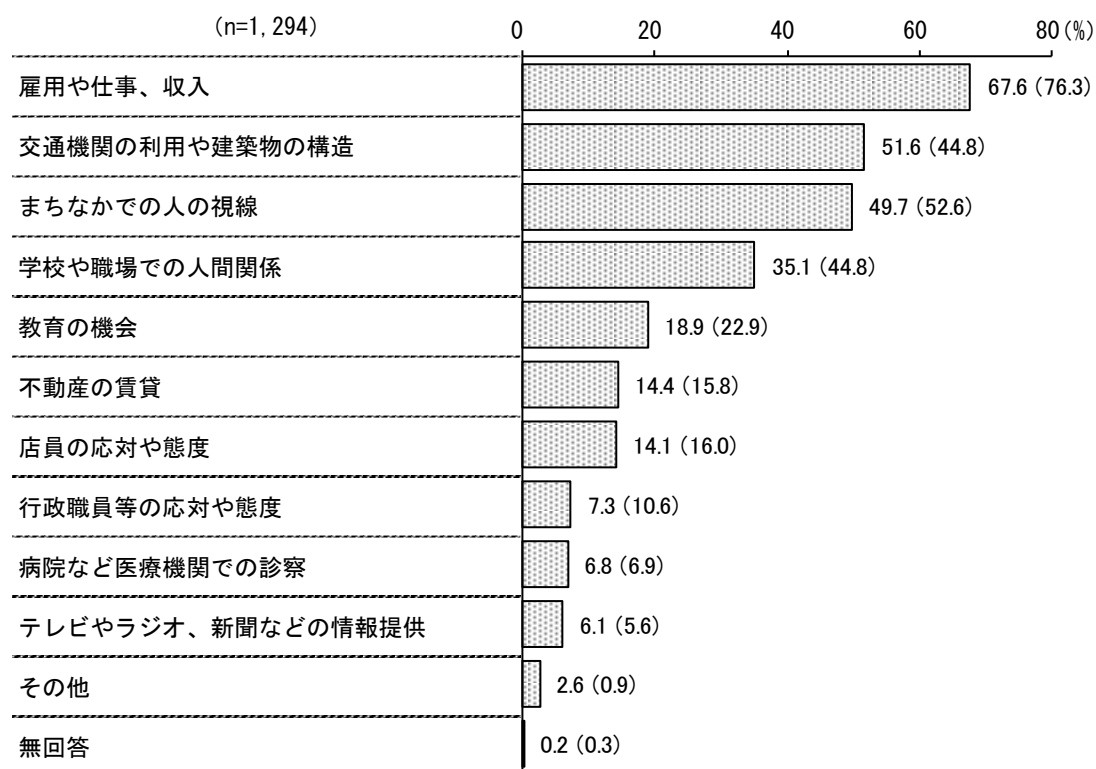
◇「雇用や仕事、収入」が約７割

（問３で「あると思う」、「少しはあると思う」のいずれかをお答えの方に）

問３－１ あなたは、どのような場面で障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

（○はいくつでも）

＜図表１－７＞障害を理由とする差別や偏見がある場面（複数回答）



注）（ ）の数字は令和５年度の同様の項目による調査結果 n = 1,441

障害を理由とする差別や偏見がある場面を聞いたところ、「雇用や仕事、収入」（67.6%）が約７割で最も高く、以下「交通機関の利用や建築物の構造」（51.6%）、「まちなかでの人の視線」（49.7%）、「学校や職場での人間関係」（35.1%）が続く。（図表１－７）

#### 【地域別】

地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表１－８）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「雇用や仕事、収入」は、女性65～69歳（80.4%）が８割、男性70～74歳（79.0%）が約８割で高くなっている。

「交通機関の利用や建築物の構造」は、男性65～69歳（67.3%）が約７割、男性70～74歳（65.4%）、男性75歳以上（63.8%）が６割台半ばで高くなっている。

「まちなかでの人の視線」は、女性30代（60.2%）が６割で高くなっている。（図表１－８）

<図表 1－8>障害を理由とする差別や偏見がある場面（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

